脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）のうち、DX型CO2削減対策実行支援事業

No.	GAJ事業番号	代表事業者	支援対象工場・事業場	所在地	事業実施期間
1	1621001	髙橋金属株式会社	特販部　安八工場	岐阜県安八郡	複数年度

DXシステムCO2削減計画書　1621001

【実施計画】

事業者名	髙橋金属株式会社						
事業場名	特販部　安八工場						
支援機関名	株式会社エネルギーソリューションジャパン						
事業期間	□	単年事業	■	2ヵ年事業			
CO2排出量	参考年度	76	t-CO2				
現状の課題 （改善項目）	・事業所全体のエネルギー使用量は把握できているが、「どこで」「どれくらい」エネルギーが消費されているかを把握できておらず、適切な対策を講じられない状況である。 ・金属材料の防錆対策として除湿を重点的に行っているため、空調負荷が大きいと考えられ、運用を最適化する余地がある。 ・製造設備としてレベラーおよびシャーリングを保有しており、待機電力の削減など、改善の余地があると考えられる。						
DX型CO2削減対策 実行支援実施後の 設備対策実施方法	■	SHIFT事業に応募して対策実施予定	■	他の補助金に応募して対策実施予定	■	自費で対策実施	□ 運用改善のみ
	SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に応募して対策実施予定の場合は、応募予定年度についても記入する。　【応募年度　2028　年度】						

【計測の根拠・目的】

□ 入力セル　□ プルダウンメニュー選択セル　■ 自動計算・自動転記セル

No.	計測器の種別（※1）	対象設備・機器・システム名	計測対象数	計測・分析項目（※２）	計測目的・根拠／改善したい項目・内容（※３）	想定対策内容（※４）	改善種別（※５）	設備対策実施方法（※6）	水平展開（※7）
1	DXシステム	空調機器・除湿器	電気 3 温湿度 5	電気 温度・湿度	■計測目的・根拠 空調の設定温度や稼働時間など、運用面におけるロスや改善余地の有無を確認するため、電力データを取得する。 また、工場内の温湿度分布および経時変化を把握し、電力消費との関係を検証するため、温湿度データを取得する。 取得したデータ（電力データ・温湿度データ）の相関、運用見直し予知を評価し、対策を検討し、対策実施後は効果測定と効果検証のため、データ監視を行う。 ■改善したい項目・内容 空調運用の最適化および効率的な結露対策	・設定温度の緩和 ・空調負荷の軽減	運用改善	・運転時間運用設定 ・設定温度の 緩和ルール設定	可
2	DXシステム	コンプレッサー	電気 1	電気	■計測目的・根拠 設定圧力の妥当性や待機電力の発生状況に起因するロスが想定されるため、電力データを取得する。 取得した電力データを基に、運転状態（稼働開始時刻、休憩時の運転状況、負荷率）を分析し、対策を検討・立案する。対策実施後は、効果測定・効果検証のため、継続してデータを監視する。 ■改善したい項目・内容 供給圧力の適正化、非稼働時の停止、エア漏れの修繕による負荷低減、高効率機器導入	・供給圧力の適正化 ・非稼働時の停止 ・エアー漏れ修繕による 負荷低減	運用改善	・供給圧力適正値設定 ・非稼働時の停止運用設定 ・エアー漏れ修繕対応	可
						・高効率機器への更新	設備導入（更新）	・高効率機器への更新	－
3	DXシステム	電灯設備	電気 1	電気	■計測目的 電灯系電力消費に対し太陽光発電設備での供給検討を進めたく、電灯電力の消費実績データを取得する。 計測データより、照明点灯開始時間、消灯時間の適正化など対策検討を行い、対策実施後は効果測定・効果検証のためデータの監視を行う。 ■改善したい項目・内容 現状の電灯系電力を太陽光発電電力でカバーし、事業所全体の電力消費削減を狙う	太陽光発電設備の 追加設置（増強）	設備導入（更新）	・太陽光発電設備の 導入	－
4	DXシステム	レベラー・シャーリング	電気 3	電気	■計測目的・根拠 待機電力、付帯装置の電力等不明であり、電力データを取得して切り分けする。 取得したデータより、設備稼働と待機状態を切り分け、段取り方法の改善（例、立ち上げ時の暖気時間見直し、休憩時の電源OFFなどの対策）を設定し、実行を行う。 対策実施後は、効果測定、効果検証のためデータ監視を行う。 ■改善したい項目 待機電力の低減、付帯装置の適正稼働化	・待機電力の低減 ・付帯装置の適正稼働化	運用改善	・待機時停止運用設定 ・付帯装置の 適正稼働運用設定	－

※1　DXシステムまたは他の計測器による計測を行い、「運用改善等」については３つ以上を記載すること。

※2　計測・分析する項目を具体的に記載する。（例：電力、圧力等）

※3　「現状の問題点」等から「計測の目的・根拠」、「改善したい項目・内容改善した項目・実施内容等」を記載する。

※4　改善したい項目・内容に対し、想定する対策内容を記載する。

※5　改善種別をプルダウンより選択する。

※6　DX型CO2削減対策実行支援実施後の設備対策実施方法等を記載する。

※7　他工場・事業場への水平展開の可能性をプルダウンより選択する。なお、水平展開が難しいと思われる場合は「－」を選択する。

採択者一覧に戻る